

都市計画マスタープラン改訂について

1. 計画の目的と目標年次

目的：都市の将来像、将来の土地利用計画、基盤施設整備方針など、恵庭市における都市づくりの総合的な指針を定める。

目標年次：2020（令和2年度）～2040（令和22年度）（概ね20年）

2. 関連計画

第5期恵庭市総合計画（基本構想）：2016～2025年度

第6期恵庭市総合計画（基本構想）：2026～2035年度

第2期恵庭市総合戦略：2020～2024年度（策定中）



3-1. 現計画の課題と方針

- ＜課題＞
- 1) 長期的な人口減少、超高齢化社会を見据えた将来市街地の設定
 - 2) 自動車に過度に依存しないまちづくり
 - 3) 「花のまち恵庭」ならではの個性的なまちづくり
 - 4) 安心安全な生活環境の形成

- ＜方針＞
- 1) JR3駅を中心とした「集約型都市構造」の形成
 - 2) 「歩いて暮らせるまちづくり」の推進

3-2. 現計画における取組みと検証について

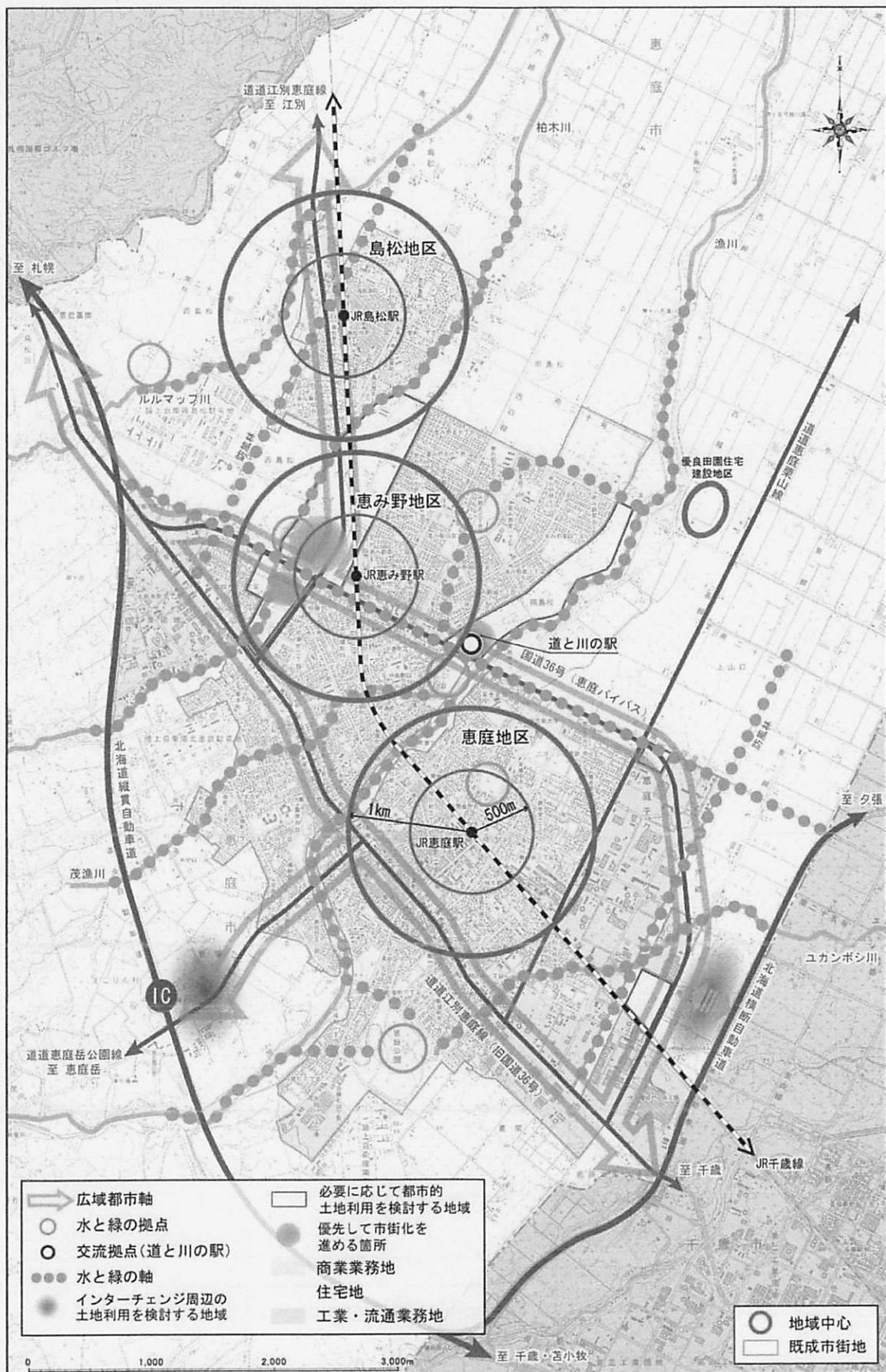
まちの骨格	取組み	検証
①地域中心	<p>JR3駅周辺を「地域中心」として、都市機能の集約やバリアフリー化を推進。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恵庭駅土地区画整理事業 ・恵庭駅西口市街地再開発事業 ・「えにあす」の整備 ・恵み野駅西口土地区画整理事業 ・恵み野商店会周辺の活性化 ・道路公共施設のバリアフリー化 	<p>駅周辺に都市機能が集約されたことで複合施設利用者が増加、さらには、商店街の活性化や駅周辺施設のバリアフリー化が進み、駅周辺の活性化を図りました。</p>

②地域中心を取り囲む地域	当該地域では、地域特性に応じた良好な住環境の維持し、コミュニティ活動施設の整備など、生活に密着した施設誘導を図り地域中心と連携したまちづくりを進める。 ・黄金ふれあいセンター整備 ・かしわの森整備 ・新たな住宅団地の整備（ノースガーデン、イーストガーデン、ふれる恵み野等） ・恵み野駅西口土地区画整理事業	複合施設整備により、地域コミュニティ活動の活性化と、住環境整備により、定住人口の増加を図りました。
③広域都市軸	国道36号など主要道路沿線に、商業や業務機能を誘導し都市活動を支える。 ・恵み野駅西口土地区画整理事業 ・戸磯南土地区画整理事業	沿道商業・業務の誘致により、市街地の連續性と商業など利便性向上が図られました。
④水と緑の拠点、水と緑の軸	水と緑の拠点として、公園緑地や河川整備を推進する。 ・ふれらんど整備 ・花の拠点整備着手 ・かわまちづくり事業着手 ・公共施設花づくり指針	花の拠点整備やかわまちづくり事業に着手、さらに花づくり指針の策定により、「花のまち」として来訪者へのイメージ向上に取り組みました。
⑤交流拠点	道と川の駅周辺において、花の拠点を整備し、本地區を恵庭市の顔として強化充実を図る。 ・「道と川の駅」改修 ・駐車場の拡大整備 ・「かのな」の再整備着手	花の拠点整備により、来訪者数の増加や恵庭産農畜産物の直売など恵庭市の観光拠点として機能拡充を図りました。

4. 今後の課題と方針について

今後起こりうる「恵庭市を取り巻く大きな社会変化」や課題などを基に、現都市計画マスタープランの未着手事業の検討も行い、整備方針の策定を行います。

併せて、恵庭市総合計画をはじめとした上位計画や関連計画と整合を図るとともに、第2期恵庭市総合戦略と連携し策定を進めます。

(参考) 恵庭市都市計画マスタープラン(H23年版)
将来都市構造図